
| 2. カーボン・オフセット関連制度

【カーボン・オフセット制度】

(<http://jcs.go.jp/>)

《スケジュール》

カーボン・ニュートラル認証／計画登録／計画登録変更申請の締切日、
及び各委員会の開催予定につきましては、
以下でご確認ください。

http://www.jcs.go.jp/pdf/application/schedule_Neutral.pdf

プロバイダー・プログラム参加申請締切日、
及び各委員会の開催予定につきましては、
以下でご確認ください。

http://www.jcs.go.jp/pdf/application/schedule_opp.pdf

認証機関・予備審査機関登録申請の締切日は
以下で確認ください。

http://www.jcs.go.jp/pdf/application/offset/offset_schedule.pdf

《制度文書・申請書類》

改訂はございません。

★最新の文書類は下記 URL をご確認ください。

<http://jcs.go.jp/document.html>

カーボン・オフセット認証各種様式関連 : <http://www.jcs.go.jp/certification-co.html>

カーボン・ニュートラル認証各種様式関連 : <http://www.jcs.go.jp/certification-cn.html>

オフセット・プロバイダープログラム各種様式 : <http://www.jcs.go.jp/certification-op.html>

《お問い合わせ先》

カーボン・オフセット制度事務局

TEL: 03-5425-3744 E-mail: jcs@4cj.org

【J-クレジット制度】

<http://www.japancredit.go.jp/index.html>)

■2015年3月18日

J-クレジット制度の概要を更新しました

<http://japancredit.go.jp/menu01/document.html>

■2015年3月24

J-クレジット制度の概要を更新しました

<http://japancredit.go.jp/>

■2015年3月24

英語のページを更新しました

<http://japancredit.go.jp/>

■2015年3月24

第10回認証委員会 結果概要を掲載しました

http://japancredit.go.jp/committee_holding/post-1.html

■2015年3月25

英語のページを更新しました

<http://japancredit.go.jp/english/index.html>

《スケジュール》

申請書類提出締切日及び委員会開催予定日は、
以下でご確認ください。

http://japancredit.go.jp/committee_holding/post-1.html

《制度文書・方法論・申請書類》

改訂はございません。

★最新の文書類は下記 URL をご確認ください。

制度文書 URL : <http://www.japancredit.go.jp/menu04/rule.html>

方法論 URL : <http://www.japancredit.go.jp/menu04/methodology.html>

申請書類 URL : <http://www.japancredit.go.jp/menu04/application.html>

《お問い合わせ先》

下記 URL をご確認ください。

<http://japancredit.go.jp/contact/index.html>

《お問い合わせ先》

オフセット・クレジット（J-VER）制度事務局

TEL: 03-5425-3744

E-mail: jver@4cj.org

…編集後記…

アメリカ西海岸の都市サンフランシスコ。潮の流れが激しい周辺の海は、豊かな漁場として知られてきました。中でも良く獲れたのはキングサーモンだったそうですが、1980年代にはその水揚げが年間60万匹を越え、全米有数の漁場となっていました。ところが、近年はダムや宅地開発によってサケの産卵に適した河川環境が失われ、サケの姿が見えなくなり、2011年には水揚げが2万2000匹と、最盛期の30分の1にまで落ち込んでしまったのだとか。そこでサケを呼び戻すために地元の研究者達が目をつけたのが、カリフォルニア米の水田です。3年前から使われていない休耕田に5万匹のサケの稚魚を放し、体長が8cm程度になるまで成長させました。水田は水深が浅く、水の流れも緩やかでプランクトンが豊富であるため、稚魚の成長に適していると言います。またエサを自分で探すなど自然に近い環境で成長する事で、その後も生き残る確率が高くなるのだとか。野生のサケは背中に小さなヒレがありますが、水田で育ったサケはあえてヒレを切ってから海に放流されます。これは成長して戻った時の判別を容易にするためですが、同様に稚魚全てにチップを埋める事で、捕獲された際、出生地が確認出来るような工夫がされているのだそうです。最近になり体長70cm程のキングサーモンが海で釣り上げられ、この水田で育てられたサケだった事が確認されました。一度はあまりにもサケが獲れず、漁の存続が危ぶまれた時期もあったようですが、この研究は地元の漁師さんにも大変喜ばれ、取組みは今も続けられているそうです。休耕田を上手に活用した素晴らしい取組みですが、今後漁獲量がどれだけ増えていくのか、成果が楽しみです。

…

■メール配信停止ご希望の方は以下のアドレスをクリックしてください。

<https://a00.hm-f.jp/index.php?action=C1&a=86&f=8&g=4&c=3602&code=cf78fd15a1bd9495e6ba33ffc208c5de>

カーボン・オフセットフォーラム(J-COF)事務局
一般社団法人海外環境協力センター(OECC)内
〒105-0003
東京都港区西新橋3-25-33 NP 御成門ビル3階
Mail: info@j-cof.org
Tel: 03-5776-0402
Fax: 03-5472-0145
URL: <http://www.j-cof.go.jp>

※このメールに書かれた内容の無断転載、無断複製を禁じます。